

令和7年度 学校経営計画書

学校名	倉敷市立 北中 学校
校長氏名	松 崎 晃

○ 本校のミッション（使命、存在意義）

本校は、創立より67年という伝統をもつ地域に根ざした中学校である。

- 1 生徒が将来の夢や目標に向かって主体的に努力し、活気ある学校を創造する。
- 2 確かな学力と豊かな人間性、たくましい実践力からなる「生きる力」を育成する。
- 3 道徳性・規範意識を身に付け、社会に貢献できる生徒を育成する。
- 4 地域に貢献し、地域から愛される生徒・学校を創造する。

○ ミッションの追求を通じて実現しようとする本校の学校経営ビジョン（将来像、目指す姿）

校 訓：「敬愛 協和」

学校教育目標：「自ら考え、豊かな心とたくましい実践力を身につけた生徒を育成する。」

目指す学校像：「生徒・先生・保護者・地域みんなが誇れる学校にしよう。」

生徒にとって：「行きたい」 保護者にとって：「行かせたい」 教職員にとって：「働きたい」

- ① 生徒が教育活動に主体的に取り組み、学校生活を安心して送ることができる学校
- ② 保護者が学校行事に協力し、PTA活動を工夫して活性化するように取り組む学校
- ③ 教職員が熱意と使命感をもって協働し、支え合い高め合う学校

目指す生徒像：① 目標をもち自ら学ぶ意欲に満ちた生徒

② 自他を思いやり、支え合い磨き合い高め合う豊かな心をもつ生徒

③ ルールを守り正しく判断し行動できる生徒

○ 当該年度の具体的な学校経営目標・計画

令和7年度の学校経営目標：「笑顔と活力のあふれる学校」

○その具体：「温かい人間関係の中で、豊かな人間性を育み、

学校行事や諸活動等を通して、自己肯定感と成長を実感できる学校」

○重点を置くこと：「学級経営」・「学校行事」・「部活動」

◇指導計画・具体的な実践方法

[学力向上部会]

○学力向上：協働的な学びの場で自分の考えを伝えられる生徒の育成を目指し、生徒が主体的に学ぶことに重点を置き、対話的な学び（こ・た・こタイム）を意識した授業を展開する。また、『夢ノート』を積極的に活用して、家庭での学習習慣を確立させる。

[人権教育部会]

○共感力のある集団づくり：学級活動や学年・学校行事を通じて帰属意識を育み、自分らしさを発揮できる温かい集団づくりを進める。互いに個性を認め合い、尊重し合い、共に成長しようとする生徒の育成を目指す。『人権集会』を実施し、人権意識の高揚に努める。

[特別活動部会]

○SELを生かしたキャリア教育、PBISの視点をもって学校行事・生徒会活動等に取り組む。その指標として行動チャートを作成し、生徒の自己有用感を高め成長を促す。

[生徒指導部会]

○あいさつ運動の実践：「あいさつができる」「笑顔が広がる」「ルールを守る」生徒を育成する。

○特別支援教育・不登校対策の充実：個別の配慮と支援を必要とする生徒に対し、全教職員の共通理解のもとに個別最適な指導と支援を進める。

○厳しく温かい積極的な生徒指導：生活実態に寄り添い、日常的なふれあいと声かけや家庭との連携を大切にしながら、積極的な生徒指導を進める。また問題行動の指導にはチームで当たる。

[その他] 家庭・地域との連携：積極的に情報発信し、保護者や地域の方々が学校の状況を理解し、学校行事やPTA活動に協力的に参加できるようにする。

◇指導の心構え：「考えさせる」「ほめる」「認める」